

コード	401040207
記入日	H27.11.6

新規事業評価表【事前評価】

作成年度	平成 27 年度
------	----------

課コード	112
課 名	水産課
課長名	石司 泰栄
担当者	濱口 友司

評価対象事業名称	有福地区ユニツク車設置補助事業	事業種類	単年度事業
		事業期間	平成 28 年度 ～ 平成 28 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	4	政策名称	地域資源を活かした「産業のしま」	款コード	6
施策コード	401	施策名称	水産業の振興	項コード	3
基本事業コード	40104	基本事業名称	漁業経営の近代化の促進	目コード	2
事務事業コード	4010402	事務事業名称	新水産業収益性向上・活性化支援事業	細目コード	857
関連計画		法令・条例規則等	長崎県新水産業収益性向上・活性化支援事業費補助金 新上五島町水産業振興奨励事業費補助金交付要綱		

計画 (PLAN)

対象：誰、何を対象にしているのか	対象指標：対象の大きさを表す指標			
(対象1) (有)有福水産	(対象指標1) 1法人			
(対象2)	(対象指標2)			
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入	活動指標：事務事業の活動量を表す指標			
	(活動指標名称)	(活動指標数値)	(指標積算根拠)	(目標達成年度)
・ 漁業法人の経営改善計画に基づき、目標とする所得向上のために必要な機器類の整備や活動に対する支援を行う。				
→事業主体：(有)有福水産	① 補助金交付件数	1件	補助金申請件数	平成28年度
ユニツク車 (8トン) 1台 2.9トン吊クレーン付き				
補助対象事業費 7,770千円 (法人負担 3,887千円)	②			
総事業費 8,373千円 (法人負担 4,490千円)				
目的：何をしたいのか	成果指標：目的の達成度を表す指標			
	(成果指標名称)	(成果指標数値)	(指標積算根拠)	(目標達成年度)
・ (有)有福水産は若松漁協に属する定置網漁業を経営する法人である。漁獲物は主に漁協の荷捌所で荷捌き後、九州商船のフェリーで長崎魚場等へ出荷しているほか、小魚や雑魚は町内の養殖業者へ養殖用の餌として供給している。ユニツク車の設置により小魚や雑魚等の運搬の効率化が図られ経費の削減と収益の向上が期待できる。また、収益向上による地域の雇用の安定化・拡大を期待する。	① ユニツク車	1台		平成28年度
	② 作業の効率化及び収益性の向上	-	-	平成28年度

実施 (DO)

	単位	全体計画	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度以降
		H 28 ～ H 28							
活動指標	① 件	1	1						
	②								
成果指標	① 台	1	1						
	②								
総事業費 C (A+B)	千円	4,583	4,583						
直接事業費 A	千円	3,883	3,883						
人件費 B	千円	700	700						
内 訳	従事職員数	人	0.1	0.1					
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
C の財源内訳	国補助金	千円							
	県補助金	千円	2,589	2,589					
	起 債	千円							
	そ の 他	千円							
	一般財源	千円	1,994	1,994					

評価 (CHECK)

評価項目		内 容
1 次 評 価	・事業の緊急性・必要性はありますか。	県の経営支援事業を利用した経営改善計画に基づく設備投資であり、経営の安定化により地域の雇用の安定化が図られる。
	・事業の対象・目的は適切ですか。	経営の安定化により地域の雇用の安定化、待遇改善が期待できる。
	・町が税金を投入して行う必要がありますか。	基幹産業である漁業者の経営改善は地域の経済・雇用を守るため必要な施策である。
	・事業を行わない場合の影響はありますか。	経営改善が図られず地域の経済・雇用の安定化に悪影響がでる。
	・事業費を削減できませんか。（費用対効果）	必用最低限の事業費とする。
	・受益者負担は適正ですか。	県の個人・法人補助事業の町助成（負担）率以内の支援であり適正である。
	・類似事業との整理統合はできませんか。	類似事業はない。

2次評価	ユニツク車を購入することにより、作業の効率性の向上が図られ、養殖飼料及び一本釣漁飼料の安定供給が保たれるなど事業者の経営改善に寄与するものであると判断するが、事業実施にあたっては、県補助の採択を要件とする。
------	---

3次評価 住民等の意見	
町の対応	

事業の方向性	1次	2次	3次		1次	2次	3次	
	●	●		計画どおりに事業を実施する				次年度以降に計画どおり実施する
				事業内容を見直して事業を実施する				次年度以降に計画を見直して実施する
				実施期間を見直して事業を実施する				次年度以降に類似事業と整理統合して実施する
				事業費を減額して事業を実施する				当分の間は実施しない
				類似事業と整理統合して実施する				

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。